



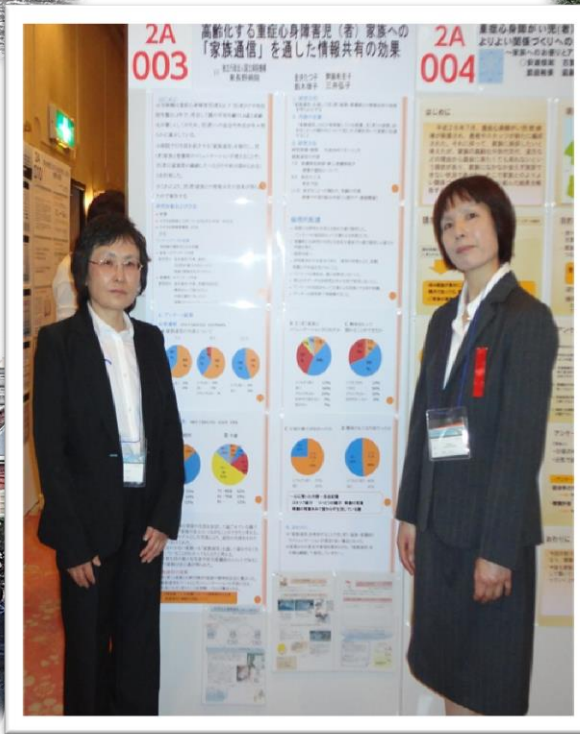
# 院内認定重症心身障害児(者)専門看護師通信 Vol. 12



2015年10月2日、3日第69回国立病院総合医学会に行ってきました。  
今回はさっぽろ芸術文化の館でのぞみC病棟の看護研究「高齢化する重症心身障害児者への家族通信を通じた情報共有の効果」を発表してきました。  
「家族通信は継続していますか？」の質問があり、「現在は係りが中心に取り組んでいます」と返答してきました。



家族通信は 患者と家族の橋渡しのひとつです



今回のテーマは「地域で作る明日の医療～まいにちからまんいちまで～」  
一般演題2597題 シンポジウム35題など充実した内容でした。  
「2025年問題など将来に向けた在宅医療などの地域医療重視と、病院機能分化等担うべき医療の未来について早急な対応をしていかなければならない」とのことでした。  
重症心身障害児(者)に対して、家族との交流や口腔ケア・排泄ケアなど様々な取り組み報告がされていました。重心児の日常生活援助に活かせる内容で勉強になりました。  
国立病院総合医学会は、毎年10月及び11月に開催されます。院内認定専門看護師として、取り組んだことを次年度は、発表していきたいと思えます。

重症心身障害児(者)院内認定専門看護師 横澤千代子

